2011年9月9日

駅からマンホール

第1回: 鉄蓋鑑賞の楽しみ方
～9月10日は下水道の日～

本講座にご参加いただき、大変ありがとうございます。
どうぞ最後までお楽しみください。

イメージ写真: 名古屋市下水道科学館
名城公園に隣接した科学館で、平成元年に名古屋で開催された「世界デザイン博覧会」で展示されたマンホールの蓋がずらりと展示されています。

自己紹介

駅からマンホール
http://EkikaraManhole.WhiteBeach.org/

路上文化遺産データベース
http://SCHDB.WhiteBeach.org/

１．路上観察

1.1 路上観察のジャンル
- ・鉄蓋鑑賞
- ・標識・看板
- ・看板建築
- ・古い町名に関するもの
- ・歩道橋
- ・トマソン

などなど様々なものが路上観察の対象となる

1.2 路上観察が流行る条件
1.3 現在の路上観察ブームの特徴

２．マンホール鉄蓋鑑賞

2.1 観察対象は大きく分けて二つのグループに分けられる
- ・デザインマンホール蓋(路上の芸術)
- ・骨董蓋(路上の文化遺産)

2.2 なぜ今マンホールの鉄蓋なのか
- ・趣味人口の増加
- ・手軽に始められ、奥が深い
- ・平成の大合併
- ・最後まで残る構造物である

～　休　憩　～

３．鉄蓋鑑賞の楽しみ方

3.1 蓋の種類
- ・下水道(公共下水道・流域下水道・集落排水・暗渠)
- ・上水道(消火栓・弁筐類・その他)
- ・電気
- ・電話・通信
- ・ガス
- ・共同溝

3.2 様々な楽しみ方
- ・共通のテーマに沿って集める
- ・蓋になった風景を探す
- ・隠されたメッセージを読み解く
- ・蓋そのものの歴史を調べる
- ・蓋のデザインから地域の特色を調べる

・模様そのものを楽しむ
・離れた地域の歴史的繋がりを調べる
・製造会社を軸に調べる
・越境蓋を楽しむ
・鉄蓋展示場を探す

3.3 鉄蓋探索の心構え
3.4 鉄蓋探七つ道具
3.5 鉄蓋関連グッズ

４．下水道の日

4.1 下水道の日について
4.2 下水道の日に関するイベント
・ベルリンのマンホール足下の文化
・東京静脈漂流

５．今後の予定

町歩き:～日本橋と東京市章～
2011 年 10 月 22 日(土) 10:30～12:30
11 月 10 日(木) 10:30～12:30
日本橋を中心に、路上の文化遺産(鉄蓋)を見てまわります

町歩き:～区内の蓋にだって個性があるんです～
2011 年 12 月 予定
銀座・日比谷を歩いて個性豊かな蓋を探します

座学: ～都内に残る古い蓋～ (仮)
2012 年 2 月 予定
現在も都内に残る古い蓋から、形状や地紋など、その系譜を探ります

デザイン性の高い蓋も幾つか選んでご紹介します

６．今回ご紹介した蓋について

静岡県田方郡韮山町(現 伊豆の国市)

町の特産品「いちご」、「反射炉」と「富士山」がデザインされています。地元の名所・名産・歴史が詰め込まれたデザインです。

撮影場所: 韮山駅の裏通り

内務省

第二次世界大戦前の日本では「官庁の中の官庁」とも呼ばれる有力官庁だった内務省の紋章が入った蓋です。

組織は戦後間もなく解体されましたがこの蓋は今なお現役で頑張っています。

撮影場所: 分倍河原駅周辺

東京都多摩市

汚水用の蓋には「多摩川」に遡上して産卵する「サケ」が、雨水用の蓋には「傘」のマークが入った「長靴」がデザインされています。「汚水」と「雨水」でデザインを使い分けている自治体はたくさんあります。

撮影場所: 多摩センター駅周辺

東京都下水道局

都の花「ソメイヨシノ」と都の木「イチョウ」、都の鳥「ユリカモメ」がデザインされています。「ユリカモメ」わかりますか？

「合流」とは「汚水」と「雨水」を同じ下水管に流す下水道方式のことで、古くから下水道を整備している都市によく見られる方式です。

彩色された蓋は展示用のみで、路上にはありません。

撮影場所: 蔵前水の館

諏訪湖流域下水道

諏訪大社最大の行事「御柱祭」の様子がデザインされています。

「流域下水道」とは、効率よく下水の排除と処理を行うために、市町村の枠を超えて広域的に整備された下水道のことで、各市町村のデザインとは別なデザインの蓋が設置されることもあります。

撮影場所: クリーンレイク諏訪

静岡県掛川市(日坂地区)

東海道 25 番目の宿場町「日坂宿」をイメージしたデザインになっています。

「集排」とは「集落排水」の略で、生活環境の改善と公共用水域の保全を目的とした下水道類似施設です。それぞれの集落で異なったデザインの蓋を設置している自治体も多くあります。

撮影場所: 旭テック㈱ショウルーム
(日坂宿にも同じ蓋があります)

千川上水

暗渠化された千川上水の蓋です。左の蓋は現役の暗渠を覆う蓋ですが、右の蓋はもう枯れてしまった暗渠の蓋で、設置は戦前だと思われます。

撮影場所: 板橋高校周辺(左)、千川上水公園付近(右)

北沢川緑道(東京都世田谷区)

「ホタル」、「メダカ」と「小川」がデザインされています。暗渠化された河川沿いに整備されることの多い「緑道」は23区内にも多数ありますが、オリジナルのデザインを使った蓋もあります。

このように、東京23区内にも隠れた名デザインの蓋が幾つかあります。

撮影場所: 北沢川緑道周辺

神奈川県横須賀市

消火栓の蓋は下水道の蓋に次いで豊富なデザインがあります。しかもその役割から、よく目立つデザインの蓋が多いです。

横須賀の消火栓の蓋にデザインされているのは、水道創設90周年を記念して誕生したイメージキャラクター「アクアン」です。

撮影場所: 横須賀市内

山梨県富士吉田市

「富士山」と市の花「フジザクラ」、市の木「シラカバ」、市の鳥「アカゲラ」がデザインされています。ちなみに、富士吉田市の路上にある下水道の蓋は、彩色されていません。

このように、下水道よりも上水道の蓋に力を入れている自治体も幾つかあります。

撮影場所: 富士吉田(富士山)駅周辺

東京都昭島市

「カッパ」がデザインされた空気弁の蓋です。こちらも上水道の蓋です。

下水道の蓋を含め、「カッパ」をデザインしている自治体も幾つかあります。

撮影場所: 中神駅周辺

東京帝國大學農學部

「農學部・計量器」と書かれた蓋です。

上水道の蓋は渋いもが多いのですが、各種弁筐や量水器、電源系統などとにかく種類が豊富です。その用途が蓋に書かれているため、地域や年代による呼称や形状の変化を調査しやすく、集めてみると非常に奥が深い対象物です。

撮影場所: 東京大学駒場キャンパス

東京都水道局

こちらは「泥吐室」と書かれた蓋です。同じ「泥吐室」の蓋でも、年代により蓋の形状や紋章の形状、字体などが異なります。そうした手掛かりから、設置年代を推測してみるのも楽しいです。

撮影場所: 江戸橋付近

東京市電氣局(電燈課)

東京市電氣局には電力供給事業を行っていた電燈課と、市電を運営していた電車課とがありました。この蓋は電燈課のものだと思われます。電燈課は現在の東京電力の源流の一つに、電車課は東京都交通局になっています。

撮影場所: 浅草通り(下谷教会前)

逓信省

〒マークに「電話」と書かれた蓋です。逓信省が電話事業を行っていた、戦前に設置された蓋だと思われます。

撮影場所: 神田税務署前

日本電信電話公社(電電公社)

逓信省から電気通信省を経て昭和 27 年に設立された電電公社の蓋です。中央の TTS マークが入った蓋はまだ路上にたくさん残っていますが、この「ニの字」字紋の蓋は古いタイプの蓋で、非常に珍しいです。

撮影場所: 福井県庁周辺

日本電信電話株式会社(NTT)

NTT のマーク(ダイナミックループ)が描かれた、電話の蓋にしては珍しい派手なデザインになっています。下に「NTT 千代田支社」と書かれているので、東西に分割される前(平成 11 年以前)の設置だと思われます。

撮影場所: 日比谷シャンテ周辺

KVH テレコム株式会社

通信会社は再編・淘汰が激しいため、
蓋を見つけても設置者が誰なのかなか
なか判明しないこともよくあります。

この蓋はいったい何の蓋なんだろう？と
推理を広げてみるのもまた楽しいです。

撮影場所: 丸の内周辺

東邦ガス株式会社

路上には上下水道、電気、電話・通信の他にも様々な種類の蓋があります。
この蓋は名古屋を中心にガス供給事業を行っている東邦ガスの蓋です。

左の蓋のマークは古いマークで、しゃちほこで「G」を表現してます。
右の蓋は現行の仕様の蓋ですが、この業界には珍しくデザイン性の高い
蓋になっています。

撮影場所: 名古屋市内

建設省共同溝

共同溝とは、上下水道、電気、電話、
通信、ガスなど地下に埋設される様々
な設備をまとめて収容する施設です。
収容する設備の種類や形態により、
「共同溝」、「キャブシステム」、
「雑線類共同収容溝」、「電線共同溝
(C.C.BOX)」、「単独地中化」など、
幾つかの種類があります。

撮影場所: 巣鴨駅付近